

# はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。



## 【特集】

### 多様性を認め合える社会に向けて

### ～「違い」を受け入れ、「違い」を活かす～②

\*レインボー（6色の虹）は、性の多様性をあらわすシンボルカラーです。

エルジーピーティー

## LGBT について（前号のおさらい）

「LGBT」とは「多様な性」の頭文字を並べたものです。



**レスビアン (Lesbian)**

女性で女性が好きな人



**ゲイ (Gay)**

男性で男性が好きな人



**バイセクシュアル (Bisexual)**

好きになる性を選ばない人



**トランスジェンダー (Transgender)**  
(FTM / MTF)

体と心の性に違和感がある（しっくりこない）  
人体の性別と異なる性別で生きる（生きたい）人

# 多様性を認め合える社会に向けて ～「違い」を受け入れ、「違い」を活かす～②

LGBTにおける最も深刻な社会問題は、これを理由とした若年層の自殺が後を絶たないという現実です。

社会の認知度が乏しく、正しい情報が届かないがゆえに引き起こされる孤立感。行政として積極的にLGBT支援事業に取り組みの見られる「大阪市淀川区役所」に、はーと・シップ編集委員が視察に行きました。

## LGBT支援事業がはじまったきっかけ

公募により選ばれた区長が、ゲイであることを公表している元大阪神戸米総領事リネハン氏と平成25年3月会談をした。それをきっかけに、市民のLGBTに対する理解不足の現状を知った。

「LGBTは人権問題である」との認識のもと、LGBT支援事業をスタート。まずは、市民の理解不足を補うためのイベントを開催。その後、LGBT当事者と意見交換会を行い、その年の9月に「LGBT支援宣言」を打ち出した。

## LGBT支援事業について

### LGBT電話相談を開始

当事者だけでなく、家族や友人からの相談も受け付けている。平成27年度の相談件数は204件。

### コミュニティスペースを開設

月2回（2時間/回）開催し、平成27年度は平均20名ほどが参加。

性的指向や性自認に関わりなく安心して集まれる居場所づくりとして運営。

### 啓発のための講演会を開催

平成28年度は、テーマ「医療の現場とLGBT当事者—それぞれが知らないこと—」を開催。

### 教職員向けハンドブック

『性はグラデーション～学校の安心・安全をどうつくる？どう守る？～』の作成

淀川区・阿倍野区・都島区、3区合同で、学校におけるLGBTへの理解についてのハンドブックを教職員と一緒に作成。ハンドブックを活用しながら、教職員対象に出前講座を14回（平成28年12月末現在）実施。



## 編集委員の わたしたちが感じたこと

編集委員A（30代女）

年度途中で予算がない中、すぐに行動を起こされたことがすごいと思った。人の心あつての事業と言われていたとおり、心を込めて仕事をされていて素晴らしいと思った。

編集委員B（40代女）

自分の周りにLGBTの人はいないと思っていたが、気付かずにいたのではないかな…？

編集委員C（40代男）

当事者は、このような場を求めていたんだね…。同じ悩みのある仲間が集える場所があることは心強いね。

編集委員D（30代女）

先生が正しく理解して教育現場に活かすことができれば、救われる子どもたちもいると思う。

## 小野市での取組

小野市では、男女共同参画を一層促進し、特に教育及び保育現場から推進していくために、市内の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校の教諭17人及び市内の保育所（園）の保育士14人に、市長が男女共同参画教育推進員を委嘱。

今年度は、教育及び保育現場におけるLGBTへの理解と実践に向けた研修を実施しました。

平成28年6月 「LGBTへの理解について」

基礎知識と、どのような配慮や支援が必要なのかを学びました。

【講師】吉田弘幸さん（NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会）

8月 「LGBTの子どもたちを理解するために」

兵庫県内の小学校教諭お二人を招き、性のグラデーションについて知るとともに、授業づくりを協議するなど意見交換を行いました。

平成29年1月 「セクシュアルマイノリティ支援のとりくみ～自分らしく生きるために～」

様々なデータをもとに、日本と海外の比較、いじめ・不登校との関連、学校現場の現状などについて学びました。

【講師】日高庸晴さん（宝塚大学看護学部教授）

## 今日からできること

1

異性愛を前提とした、性別を表す代名詞（カレシ・カノジョ・奥様など）に居心地の悪さを感じている人がいるかもしれません。多様な性を認め合い、恋人・お連れ合い・パートナーという表現を使ってみるのはどうでしょう。

2

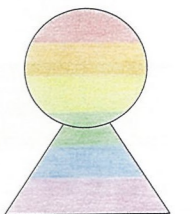
ホモ・オカマ・オネエ・レズといった言葉をメディアなどから耳にすることがありますが、笑いの対象の言葉であっても不快な思いをする人がいるかもしれません。差別的な言葉や、偏見を持った発言を控えることで、不快な思いをする人が減らせるかもしれません。

3

自分とは関係ないとは思わずに、アライ（理解者）になれるよう正しい情報を得ておくことです。

性の多様性は、地球上のすべての人が織りなす現実であり、セクシュアリティ（性自認、性的指向などを含めた性のあり方）はその人を語る、ほんの一部の個性でしかないのです。

世界のどの地域、どの時代にも、同じ割合（人口の約3～5%、20～30人に1人）で存在するセクシュアルマイノリティは、偉人と言われる人や人々を魅了する有名人にも多いよね。  
多数派が「普通」なわけではなく、いろんな視点で世の中は成り立っているから、みんな違ってみんないいんだよね。



# 電話・メール相談、相談会

## ◆ LGBT 電話相談

【大阪市淀川区】

開設時間：毎週水曜 17 時～ 22 時  
(第 5 週目はのぞく)

電話番号：0570-009-918

LGBT 電話相談カード (大阪市淀川区)



## ◆ セクシュアルマイノリティ電話相談

【兵庫県宝塚市】

開設時間：毎週水曜 14 時～ 18 時  
(おおむね 1 回 30 分)

電話番号：0797-71-2136

※平成 29 年 4 月より時間変更の可能性あり

## ◆ セクマイ相談・学習会

【兵庫県川西市】

開設時間：毎月第 4 木曜 13 時 30 分～ 16 時

開催場所：川西市総合センター

〒666-0032

川西市日高町 1 番 2 号

## ◆ メール相談

【ウィメンズ・クリニック かみむら / 岡山】

性に関する相談を受け付けています。

メール：kamimura@kitty.jp

## ● LGBT の家族や友人などによる会 ●

【NPO 法人 LGBT の家族と友人をつなぐ会 / 神戸】

電話：090-6055-2424

メール：family2006@goo.jp

小野市男女共同参画センター (うるおい交流館エクラ内) には、LGBT に関する図書があります。

一部ご紹介します。

館内での閲覧、エクラ窓口での貸出を行っています。



『職場のLGBT読本』

柳沢正和、村木真紀、  
後藤純一 著  
実務教育出版



『にじ色の本棚  
-LGBTブックガイド-』

原ミナ汰、土肥いつき 編著  
三一書房



『タンタンタンゴはパパふたり』

ジャスティンリチャードソン、ピーターパーネル 著  
ヘンリーコール 絵  
尾辻かな子、前田和男 訳  
ポット出版

## レインボーグッズ



多様性の象徴であるレインボーのグッズを身につけることも、アライ (理解者) であるのをさりげなくアピールする方法のひとつ。

(写真は、編集委員が作成した「レインボーグッズ」)

## 編集後記

今年度の「はーと・シップ」は、LGBTを含むセクシュアルマイノリティに焦点を当て、特集しました。私たち編集委員も知識の乏しいテーマ。実はそれ以前に、意識したことのないテーマ。おそらく多くの方々も同じなのではないでしょうか。

正直なところ、初めて知ることばかりで最初はとて衝撃を受けました。同時に、しっかりと正しく学ぶ必要があると感じました。そして、本やインターネットなどで情報を得るとともに、「LGBT支援宣言」を打ち出し支援事業をされている大阪市淀川区に視察に行き、実際の取り組みの様子をうかがいました。

セクシュアルマイノリティに関していろいろなお意見があると思いますが、今年度の「はーと・シップ」をきっかけに、身近にも存在するを知り、情報を得ていただければ幸いです。

平成 28 年 11 月に

小野市配偶者暴力相談支援センターが開設されました

### 小野市DV相談室 (電話・面接)

配偶者や恋人からの暴力は犯罪です。



ひとりで悩まないで相談を。

電話 **0794-63-1116**

月～金 / 9:00～17:00 (年末年始・祝日のぞく)

身体的暴力だけでなく精神的、経済的、性的暴力も含めた相談も受け付けています。

<DV・ストーカー相談先>

小野市DV相談室 0794-63-1116  
小野警察署 0794-64-0110

**身の危険、緊急時は110番へ**  
秘密は固く守られます。安心してご相談ください。相談無料です。

本誌に対するみなさまの率直なご意見や感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受け付けています。

■事務局 小野市男女共同参画センター (特定非営利活動法人 北播磨市民活動支援センター)  
〒675-1366 兵庫県小野市中島町 72 番地 小野市うるおい交流館エクラ  
TEL : 0794-62-6765 FAX : 0794-62-2400  
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail [danjo@ksks-arche.jp](mailto:danjo@ksks-arche.jp)